「くさかみ」

～高丘中学校通信～　　令和5(2023)年 12月1日　第8号

体験は人の心を豊かにする

校内のイチョウの木の落葉で、地面は黄金の絨毯（じゅうたん）が敷きつめられたようです。１２月に入り、ぐっと気温も下がり、冬の到来を告げています。皆様、お身体をご自愛ください。

さまざまな感染症が流行っております。学校の基本的な考え方につきましては、引き続き、子どもの健やかな学びの保障や心身への影響を考慮し、「うがい」「手洗い」「換気」などの啓発・対策を図った上で教育活動を継続してまいります。各ご家庭におかれましても対応をお願いいたします。

ところで、１０月２７日（金）より１１月２日（木）までの期間、オープンスクールを開催しました。また、１１月２３日（木）は「第２回町バズ・授業参観」を行いました。（受付が込み合い、大変申し訳ありませんでした）延べ、４７６名の方々に来校していただき、授業の様子、作品展の見学、合唱コンクールなどを見ていただきました。

アンケートの記入もありがとうございました。今後、本校の教育活動に活かしてまいりたいと思います。

オープンスクール最終日は文化発表会でした。今年度は来賓の方にも来ていただき、保護者の方々にも入れ替え制ではなく、生徒の活動を見ていただくことができました。

合唱コンクールでは、各学年・各クラスが美しいハーモニーを響かせてくれました。子どもたちがステージに立ち、１曲、１曲を聞くたびに感動して、私は、熱いものが込み上げてきました。合唱の前には箏曲部、午後には吹奏楽部の演奏がありました。また、生徒会が企画してくれました「やってみようプロジェクト」（WANＩMAさんの「やってみよう」を全校生徒で歌う）もできました。生徒の合唱、演奏、弁論、生活・体験発表に触れ、心温まる１日を過ごすことが出来ました。

体験は「人」を、「人の心」を豊かにします。学校・家庭・地域のつながりを深めるうえにおいても、今後もさまざまな形で、子どもたちに体験活動を行ってまいります。

お子様の様子はいかがですか。気になることがございましたら、いつでも学校までご一報ください。子どもたちが「笑顔」で「生き生き」とした学校生活が送れるよう努めてまいります。引き続きご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

12月の行事予定

１日（金）実力考査（３年）
６日（水）教育講演会
１３日（水）専門部会
１４日（木）車いすバスケットボール体験（２年）
１５日（金）学期末保護者会（３年のみ）
１８日（月）～２０日（水）
　　学期末保護者会（全学年）
２２日（金）終業式

今月の登校日で給食のない日
　全校生：２２日（金）終業式

【１月の主な予定】

・９日（火）始業式
・１０日（水）実力考査　給食開始
・１２日（金）全校集会
・23日（火）～25日（木）保護者会（３年）
・29日（月）～30日（火）３年面接指導

相反（あいはん）することについて考えた

先日、あるファミリーレストランへ家族で食事に行った。一応メニューには目を通したが、いつもの（大好きな）やつを注文した。家族からは「また、それ？よぉー飽きひんなぁー」とあきれられた。「たまには、他のやつも食べてみなあかん」みたいなことを妻から言われた。メニューには他にもおいしそうなものが並んでいるが、食べたことがあるのは、数種類しかない。

自分では好奇心旺盛な性格だと思っているので、妻の言葉は「あんたは、チャレンジせえへんなぁ～」と言われているようで、少し腹が立った。

次の日、夕飯は鍋だった。食べていると、『エバラのプチッと鍋』が目についたので、「ちょっと飽きてきたし、味変してもええか？」と家族に尋ねたところ「あんたはホンマに飽きっぽいなぁ。ちゃんと味ついてるのに、出されたもの食べぇな！」と怒られた。

飽きっぽい＝長続きしない人、突き詰められない人　と言われているようで、これもまた少し腹が立った。

短期間に全く相反することを言われたので、自分って「飽きっぽい」のか、そうでないのか、どっちなのか？　また、「よぉー飽きひんなぁー」と言われ腹が立ち、「飽きっぽい」と正反対のことを言われて腹が立ったのはなぜだろう？そんなことを思った。

自分を振り返ってみて、お店で同じものを注文することは確かに多い。ファミレスだと商品が多すぎて考える時間が面倒だ。それに、せっかくの外食で失敗したくないという思いも強いと思う。入るお店によっては、思い出や思い入れのある料理もある。同じものを食べ続けても、自分自身の満足度は高い。他人には理解されないかもしれないが、それが自分の個性だとして受け入れている。「じゃあ、飽きっぽい性格ではないよね？」と聞かれたら、自信を持って「ハイ！」とはいえない。どちらの性格も自分自身だ。

理性と本能　優しさと厳しさ・・・　褒めて育てるのか叱って育てるのか　等

一人の人間の中にも、相反するものは同居しいるなぁと思う。それに気づき、受け入れることが大切なのではないかと思った。自分の中にある、相反するものを自覚し、認めることで、自分とは相反するようにみえる他者に対しても寛容になれたらと思う。